

三笠ニュース

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京 (292) 1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR 旬報 年4回発行

均一化と品質が向上

ブロック製作に朗報

FJ 150「トントン」で打設

「トントン」のベトナムで知られる高周波小型自振モーターFJ 80は、昨年の発売以来日を追う毎に普及の度合を高め、建築用の新しいパイプレーターとして各地で使われ、きれいな仕上り、満足度の高いお言葉も頂いております。その成果を基に登場したFJ 150は、出力がFJ 80の約1.9倍、小さいけれども力持ち。コンクリート製の製造に、また土木の現場向にと期待されています。

只今、建築工事に於いて好評を博している高周波小型自振モーターFJ 80「トントン」は、コンクリート打設面にきれいに仕上り、能率も良いとこのように全国的に普及しつつある。この原理、機構、作業性等全てのメリットに着目され、テトラポット、異型ブロック等に利用されているのではと考えられたのは、新潟県建設協会（本社、新潟県西頸城郡能生町）である。笠原建設さんは、新潟県建設協会の副会長の要職にもあり、土木工事を初め、ブロック製作も毎年行なっておられ、前回の三笠ニュースを御覧になり、早速試験

打ちの御要望を代理店である諸橋工機、上越支店さんより御連絡頂きました。テトラポットに於いてはコンクリートが硬い為、FJ 80よりも強力なFJ 150を用意し、技術研究所伊藤係長と快晴の五月十二日打設現場である糸魚川市へと向った。現場では既に建設省発注の重量6tの六脚十字ブロックを高周波パイプレーター60型2台で打設中であり、一段落したところで試験打ちに移った。スラング5cm、骨材40mm、六脚十字ブロックの前後左右に出ている先端の4ヶ所にFJ 150型を各々1台ずつ取付け、4台同時に作動させながらパイプレーターからコンクリートを投入して行く。パイプレーターの往復中も振動を掛け続けているので、充分な充填と同時に型枠との接触面は勿論、内部からも勢よく気泡が出る。内部用パイプレーターを使用しないでも理想的な打設状況であった。打設手順は写真にあるように前後左右、4ヶ所の打設を終了後、一番上の頭の部分の型枠を取付け生コンを投入する。その際もFJ 150型1台にて振動を与えたと、前記4ヶ所のコンが下から溢れ出る状態となった。そこでこの部分はM

LIN 410法面パイプレーターを使用することになった。以上の工程を省みて、笠原建設丸山機材課長の感想は、「従来工法に比べ人数で重複打設が可能になる。高所作業は最後の法面パイプレーターだけでその他の地上作業になる。危険性が少ない等、要約すると作業員が少なく、一日当りの完成個数も多く、且つ安全作業であるとのこと。同課長は勿論、同行の諸橋工機、小山主任にも「これから商品」と、お二人に太鼓判を押して頂いた。

FJ150 仕様	
出力	150W
電圧	48V
電流	4.2A
相数	3相
周波数	200/240HZ
振動数	6000/7200VPM
遠心力	180/260kg
モーター重量	6.2kg

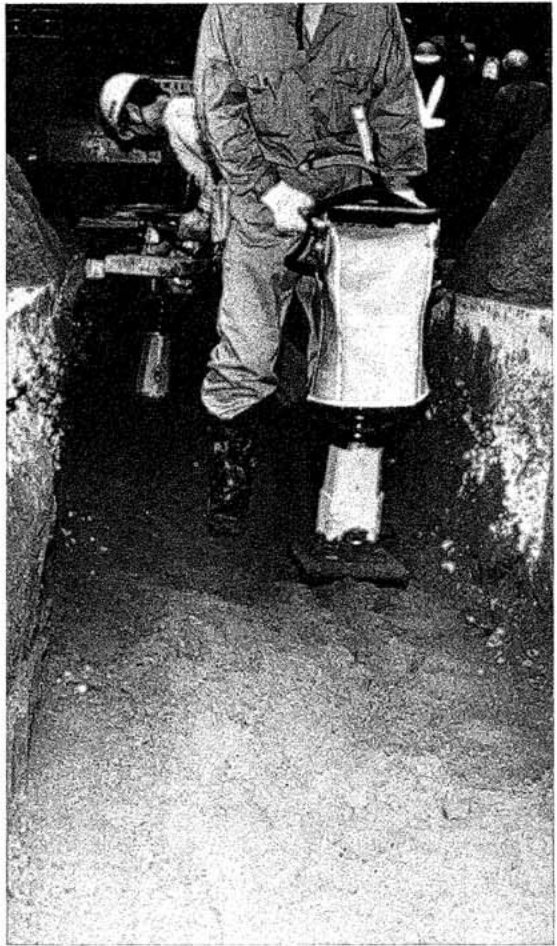
新潟県 東山記



(前後左右4ヶ所の打設中)

深夜の都会で活躍

MT-M50電動ランマー



(夜の街で静かに動く電動ランマー)

交通量の少なくなった深夜の都会では、道路が掘りかえられ、そこでは上下水道・電線・ガスそして電話の工事が毎晩のように行なわれている。毎晩の静寂に、深夜から夜の明け方にかけて、黙々と働く人達が都会生活を支える陰の力である。テレビの報道では、中低層ビルの火災の時に電線が邪魔になり、梯子車が思うように使えないで、消火活動に支障がある。今後、大都市では電話線や電線を地中に埋設する工事を促進すること。電柱が無くなると、街は広く使え空もすっきりとするだろうが、街の風物ともなっている電柱が消えるのは、ちよびり淋しい気もする。都会の夜間工事では騒音の発生を極力抑えなければならぬ。音の静かな三笠の電動ランマーは、どのように使われているか、深夜の東京を探索してみた。

電動ランマーは、今から十一年前の昭和五十年に、電灯線で使えるランマーとして100V式のものが三笠産業から発売された。それ以来三笠の電動ランマーの原動機は単相交流100Vの整流子モーターを使っ

最初に出したのはMT-R-M45。100Vなので手軽に使える、騒音が少なくて目方が軽い、排気ガスの心配が無く、室内でも使える等の利点があり注目された。たまたまランマーを使わないところ等では、エンジン式に比べ燃料など保守に気を使わなくてすむので、スイッチを入れ、すぐに動く手軽さが受け、昭和五十八年にオイルバース式ランマーMT-M50が登場する。この時、電動ランマーはM45からM50へとフルモデルチェンジされた。M50は100V入力14.5Aの整流子モーターが直結され、機構はMT-M50と同じ。潤滑はオイルバス式ランマーが跳びはねる量もMT-R-M55Aと同じくらいとなつて、M45に比べ力も強くなったのである。この頃から夜間の小規模工事が多くなり、現場の数も多くなった。これに伴ってランマーもエンジン式より音の静かな電動式に切替えると言う動きを見せ始めたのである。三笠のランマーではないがエンジンそのものの故障が多かつたことも電動ランマーに変わる一因でもあった。現場に出

電動式とエンジン式ランマーの騒音比較

騒音音 45 ~ 55 dB (A)		
距離	MT-50 タンピングランマー	MT-M50 電動ランマー
5 m	79 ~ 83 dB	70 ~ 75 dB
10 m	74 ~ 77 dB	66 ~ 68 dB
30 m	60 ~ 65 dB	50 ~ 55 dB

注. 電動ランマーは防音カバー付 フートは標準品装着

MT-M50電動ランマーにはオプションで防音カバーがある。モーターのまわりにこれを被せると音は更に低くなり、エンジン式のMT-M50との比較ではM50の方が8~9dBも騒音が低い。

ランマーのフートには普通は合板を圧縮成形し、底面には特殊鋼板を張り付けたものが使われている。これとても夜間作業の場合には、現場では打撃音の発生に気を使つて、オブションとして用意されているウレタン製のフートに替えて、耳ざわりの良い、やわらかい打撃音になっている。夜の作業では堀削に始まり管を埋設し、埋戻し、仮舗装までして帰ってくるのであるから、短い時間で手際よく作業を進めなければならぬ。暗いところで、しかも一刻を争う現場でエンジンがからから理調整の余裕など全く無い。そのような時、スイッチ・オンで軽快に動く電動ランマーは頼りになる存在である。

このような現場では一般に、電源からキャブタイヤコードを引き、これを作業現場周辺に置かれた保安柵にまわして点灯している。そこには鈴蘭灯のようにコネクタが付いているので、それに繋がれば簡単に三笠の電動ランマーが使える。当然のことだがランマーに燃料を補給する手間もいらない。しかし、モーターは湿気には弱い。トラックに積んだまま雨ざらしになることもある。こんな時、防音カバーがレイアウトの役目を果たし、雨を防いでくれる。今回取材したところではいろいろと我々の気が付かない点まで教えて頂いた。この会社では、それぞれの作業班毎に二台の電動ランマーを持つようになっているそうである。このうち一台は予備機と考えているとのこと。これは最小単位の編成であり、今後更に電動ランマーの保有数は増加する。今後このような、地中埋設の夜間工事は増加する傾向にある。電動ランマーの需要はこれから本番を迎えるのではなかろうか。

東西の代理店会にて ランマー／コンパクター／ローラー／カッター

六カ月間の保証を発表

今年も例年の通り三笠代理店会が東部地区は五月二十三日、二十四日の両日熱海で、続いて西部地区は奈良で五月二十七日、二十八日に開催された。全国の主だったお取引先ならびに報道関係各社のお集りになった総会の席上、三笠産業谷社長は挨拶のなかで、ランマー、コンパクター、ローラー、カッターの四グループに六ヶ月間の保証を行うことを発表。新時代に対処するメーカーの姿勢を明らかにした。

第二十九回 東部地区

三笠代理店会開催さる

去る五月二十三日、二十四日に先立ち三笠産業谷社長より日頃の三笠製品に対する販売に、海外輸出に、且つまた代理店会を東部地区の主要代理店、輸出商社、報道関係の方々多数をお招きして開催した。

二十三日当日最も心配していた天気も快晴に恵まれ、午後一時予定通り東京駅に参集して頂き、揃って新幹線で熱海へ。ホテル大観荘前庭の第一部主力商品展示発表会場へ到着。午前中少々あった風もお客様の到着に合わせて無風になった。今好評発売中のFJ80高周波小型自振モーター(トントント)の説明やら、MT50・65型オイルバス式ランマーの評価が何故高いか等々展示品を一人一人手にとって熱心に見ていただき、評価していただいていた発表会を終った。

引き続きホテル会議室に移り第二部の代理店会が開催された。

9回 東部地区三笠代理



(挨拶する京谷社長)

次に製品説明ではFJ80トントントについて性能データを示し、暗い現場で稼働時に点灯するパイロットランプ付の高周波小型自振モーターを披露した。又現場打設のビデオを見ていただき現品と現場を結びつけた説明を行った。質疑応答の中では現在アメリカ向のみに実績のある基礎振圧専用機インパクトローラーについて国内市場開拓の模索とか、商品のPR活動にビデオを取り入れるべきである等々の指摘を受けた。三笠側からは価格もすでに底まで来ている、尚一層の努力はするが何んとかご協力の程をというお願いも出た。かくて、春日部工場長谷川専務の閉会の言葉で代理店会を終了した。

(新製品の説明風景)



その後ゆっくりくつろいで頂いた後第三部懇親会へと入った。三笠産業吉田専務の開宴の言葉に続き、代理店を代表して仙台市山中産業中野社長殿より三笠の代理店会の盛況と三笠産業の発展を祝うとの言葉を述べ、今や市場のニーズは多様化し、且つ非常に早いテンポで変化している、今日必要なのが三ヶ月もたてばもうそのニーズは変わることもある、その意味で三笠も技術、営業含めて迅速な対応が必要だ。又価格の対応に於いても市場あつての売買であり自分の価格だけではシェアの確保はむづかしい、従って心して事に当たりたい等のご提言をいただいた。次に報道関係代表、産業機械新聞社赤坂社長殿より二十一世紀に向けて三笠代理店会と三笠産業が隆盛して行く事を祈念するとのメッセージを頂いた。輸出商社代表住友商事(株)産業機械部岸田本部長殿より会の発展と列席各位の健康を祝す音頭で乾杯し、祝宴に入った。

長畑 記

昭和61年度 西部地区三笠代理店会盛大に催される

恒例の昭和61年度「西部地区三笠代理店会」が、真夏を思わせる強い陽ざしの五月二十七日、二十八日の両日古都・奈良の歴史と風土にしっかりと溶けこんだ「奈良ホテル」に於いて代理店五十三社、並びにご来賓の銀行報道関係者多数の御参加を得て盛大に開催された。

二十七日、十二時四十分には大阪梅田のホテル阪神前にご集合の後、観光バス二台に分乗し一路奈良へと向った。第一部の三笠製品実演説明会が十四時三十分より野外特設展示場に於いて始め

られた。技術部の各担当者より高周波小型自振モーターFJ80「トントント」を皮切りにトントントファミリーのFJ150と一機種ずつ披露され、説明及び実演が行なわれた。これに熱心に見学され、質問される代理店の皆様は、今年も三笠の技術力に感嘆し満足な様子。強さを重視する現在の建築工事は、配筋密度が非常に高



(議事部の代理店会議)

くなつて、壁、柱、梁などのコンクリート打設は、従来の内部用パイプブレーターでは挿入しづらい場所が多くなつた。「トントント」を使ってこれを解決できる。「トントント」は複雑な形状の型枠でも外部からワンタッチで取り付けられその適切な高周波振動がコンクリート打設を効率よくきれいに仕上げるのである。この他に、プラスチックの大型水タンクを備えて改良されたニューセブンローラー、又MCD-21ST、23DX、25DXコンクリートカッター等これら様々の機種の説明及び実際に、各代理店の方々も実際に手でさわってその感触を確かめ好評を博した。

続いて第二部の代理店会議を本館一階の金剛の間に於いて中部出張所の村川所長の司会により進められた。始めに三笠建設機械(株)小野社長より、我々の業界も環境の変化が厳しく、そして経営の方向も仲々決まがたい有様です。本年度は昨年来よりの円高不況により、ここにきて、その対策として内需拡大策が打ち出され、この近畿地区におきましても大阪新空港、明石海峡大橋、花の万国博会場作りの大型プロジェクト工事も続々と計画されており、三笠建設機械(株)にお陰をもちまして来年は創立三十周年を迎えます。この機に創業の初心に立ち返り信頼される企業として皆様方ともども一層の発展を目指したい

と存じております」と力強く挨拶され、引き続き三笠産業(株)京谷社長より「私共メーカー」といたしましては、この苦境を打開して業績の向上を計るべく毎年目新しい新製品を代理店会に合わせて発表してまいりましたが今回はあえて新製品の展示を最小限にとどめさせていただき皆様方安心して売り上げる製品として、この度更に三笠製品をご愛用頂いておりますユーザーの信頼を高めあわせて代理店の方々が更に安心して手はなれの良き機械として、ランマー、コンパクター、ローラー、カッターの各機種に、業界初めての六ヶ月の保証書をお取り付けすることを決定し、完全な商品」を皆様へお届けする」決意を述べた。続いて製品説明とビデオを使った施工例の紹介そして質疑応答が行なわれ

た。記念撮影のあと、第三部の懇親会が新館四階大和の間で於いて十七時三十分より田中課長の司会に始まり、初めに窪田部長挨拶、次いで代理店を代表して、(株)カンキ桐月社長、来賓を代表して三菱銀行大阪西支店の内田支店長が御挨拶され、本村金物(株)本村社長の乾杯にて宴がはじまり終始和やかな歓談が続き、盛會裡に終了した。

翌日二十八日は、番外として親善ゴルフ大会が奈良国際ゴルフクラブで行なわれた。その結果、熊本の金剛建設販売(株)喜多社長が好スコアで優勝し、二位は同じ九州長崎の(株)森谷商会の苑田部長、三位は大阪の(株)ヒロツの廣津社長、ベスグロは名古屋の(株)廣田機械製作所の廣田社長が獲得した。

鈴木 記

北海道 三笠レンタル会設立さる

四月三日 定山溪にて

北海道三笠レンタル会設立総会は、四月三日(木)定山溪ビュートに於いて行われた。五月十九日に設立された東三笠三笠レンタル会に続き昨年四月東北三笠レンタル会が設立。引続きこの度北海道三笠レンタル会が発足したのである。特に北海道は、ユーザーのニーズとしてもレンタル志向が強く、この時期に北海道三笠レンタル会が発足した意義は大きい。

午後二時より新製品発表会がホテル前庭に於いて始まり、新しいコンクリート打設方法として注目を集めている建築用高周波小型自振モーターFJ80と、本日この会場に於いて初めてベールを脱いで登場したFJ80の兄貴分、土木用高周波小型自振モーターFJ150の説明と高周波・単相交流発電機FW220「二役」の特長、使用方法等について松下第一技術部長が説明を行なった。

次いで、第二技術部の磯部部長より、デッドマンコンドルを標準装備して新登場したMR7「ニューゼン」ローラーと新型コンクリートカッターMCD-21ST、23DX・25DXの説明が行われた。春とは言え、いまだ風は冷たいが参加された会員の皆様にそれぞれにめげず熱心に聞き入ってもらった。続いて場所をホテル談話室に移し北海道三笠レンタル会設立総会が、午後三時から萩本

札幌課 岩崎 記

四月十二日(土)
 ほぼ一週間にわたり、会場に詰めて戴いた、ベルギー、スウェーデンの各代理店の社長が今晚のフライトで帰られる。明日の最終日を無事迎えられるのも、このお二人の多大な協力の賜物と心より感謝し、お礼を申し上げる。又、再会を楽しみに、お別れをする。ありがとうございました。
 四月十三日(日)
 長くて短かったこのバーン展もいよいよ今日が最終日。展にもかも全てが初めての体験で、いろいろな事が思い出しされて来る。五時半の終了時間と同時に屋内、屋外に展示している全ての車のホーンが一斉に鳴り出す。終わってしまつたという寂しさとやりきげたという感動とが胸が痛む程締め付けられる。しびれなく続いていた喧騒も止み、各々が又来月日を待たずに

忍法猿楽流



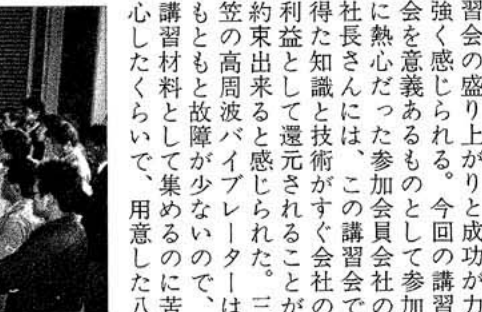
住所
長野市大字南長池字古新田
電話
〇二六二(四三) 七七八五
松沢 記

十九日は午前八時の集合に
もかわらず一人の遅刻、欠
席者もなく、八時には全員揃
って開会式が行われ、中野会
長より「低成長時代に於ける
リース・レンタル会社のサ
ビスマンの役割の重要性」等
の挨拶の後第一営業部長本
部長の挨拶、続いて、司会の佐
鴻所長より本社技術サービス
課種代係長と技術研究所塩野
谷係長の両講師が紹介され、
さつそく講習会が実施された。
先づ最初は学科、塩野谷係
長より高周波パイプレーター
全般の技術説明があり、これ



講師の話に熱心に聞き入る
サービスマンの皆さん

六十一年四月に発足した東北
三笠レンタル会(会長 中野
勇氏)では、六十年度事業計
画に基づき、サービスマン対
象技術講習会を四月十九日(土)
三笠産業(株)仙台出張所を会場
に開催した。今回は会員十七
社二十四名の参加で、高周波
パイプレーターを主体に行っ
た。



長野県下の有力な代理店
ある(株)不二さん(社長 小宮
山昌男氏)では、業務拡張発
展の為、かねてより長野営業
所の社屋を新築中でありまし
たが、この度目度落成され、
五月始めより新社屋に移
転され営業を開始されました。
新営業所は旧営業所のすぐ
近くで、敷地二千坪のゆった
りとしたスペースをもち、一
二階建の事務所倉庫百九十坪
には本格的なホイス・スト
ーク・リッスを設置し、仮設機材、機械
リースの需要拡大に処出
るよう豊富な在庫と整備体
制を整えた近代的な営業所
であります。また事務所の一角
には展示コーナーがあり、三
笠のランマー、プレートコン
パクター、コンクリートパイ
プレーター等が展示してあり、
リース、販売、整備とあらゆる
お客様の要望に処出出来



小宮山社長と新社屋

東北三笠レンタル会 サービスマン 技術講習会開催

が終わると、十二名づつ二班
に分かれて修理品実機八台を
使用して、種代係長の指導を
受けながら、実際に全員で分
解、三笠高周波用特殊工具の
説明を交えて、機器・工具を
フルに使用して、故障箇所
の見分け方、判断の仕方を教わ
った。特殊工具の使い易さと
分り易い説明に参加者が我先
に積極的に修理機を完成させ
て行く姿には三笠サービスマ
ンの頼もしさがあり、この講
習会の盛り上がりで成功が力
強く感じられる。今回の講習
会を意義あるものとして参加
に熱心だった参加者全員が
社長さんには、この講習会
で得た知識と技術がすぐ会社
の利益として還元されること
が約束出来ると感じられた。三
笠の高周波パイプレーターは
もともと故障が少ないので、
講習材料として集めるのに苦
心したくらいで、用意した八

台では不足気味であったが、
すっかり修理品も完成され、
高周波エンジンゼネレーター
コンパクター等の注意点を講
習も受け、この日の講習会全
科目を終了した。
今回の講習会受講者には後
日講習修了書が送られること
が約束された。講習会の質疑
応答後中野会長よりアンケート
用紙が配布され、集計した
ところ、今後、講習会は営業
員も含め新製品及び転圧機械

全般を対象に春(四・五月)
一泊二日の予定で今後も続け
て欲しいと言った。そして今
回の講習会はとも分り易かつた等
の回答が得られた。
かくして東北三笠レンタル
会第一期事業計画は意義ある
事業として成功裡に全て終了
した。第二期に向けさらに東
北三笠レンタル会が大きく飛
躍することを誓った。
仙台課 小林 記

(株)不二

長野営業所新築移転



小宮山社長と新社屋

(株)イイダ

埼玉営業所を開設



飯村所長と新社屋

都内に於ける三笠の有力な
代理店であり、近年販売に著
しい伸びをみせている(株)イ
イダ(本社 港区麻布十番二
十四・二 社長 飯田富郎氏)
さんでは、このたび営業拠
点作りの一環として、埼玉県
田市美女木六十四・三に埼
玉営業所(所長 飯村富一氏)
を新設され六月十六日より
営業を開始された。
新営業所は、新大宮バイ
パス(国道17号線)から少し入
った美笹西通りに面した非常
に交通の便に恵まれた所に
あり、約二百六十四平米の敷
地に延床面積百六十六平米の事務所
及び倉庫があり、三笠製品を
はじめ管工用具類を豊富に
揃えています。
(株)イイダさんでは同営業所
を拠点として地元埼玉は勿
論のこと、千葉及び三多摩地
区のユーザーさんに対しても直
ちに商品納入できる体制を
作り、サービスの充実を計
ていく予定だ。
飯村所長始め埼玉営業所の
皆様のご活躍を期待すると
なっています。



飯村所長と新社屋

春宵のひととき 小林さんを偲ぶ会開く

昨年六月二十日亡くなられ
た我が社の館林工場小林専
務は、館林工場長としての重
責を果たしたばかりでなく、館
林の街にもいろいろな面で力
を尽しておられた。やがて廻
り来る一周忌を前に、誰言
うともなく思い出さる会の話
が出た。そして館林の著名な
方々が発起人となり、故小林
常次さんを偲ぶ会が五月二
十二日夕刻、館林市のレスト
ラン「ジョイハウス」に山本
館林市長はじめ故人ゆかりの
方達約六十名が集まって催さ
れた。
やがて定刻の午後四時、発
起人のメンバーでもある館林

商工会議所の正田会頭の司会
で始まる。正田会頭が司会の
役をかってでるだけでも、故
人を偲ぶお気持ち分る。指
名を受けた数名の方が交々立
って、それぞれの思い出話を
披露された。室内を暗くして
本日会の発起人代表の大西
さんがスライドを写しながら、
友人として、その時々思い
出を語る。テープに録音され
た小林さんの話し声、そして
マイクを握る画面と共に小林
さんの歌う「大阪時雨」が流
れる。あの特長のある大きな
笑い声が現れるような気がし
て思わず目頭を押えた。
森 記



輸出一課に優勝壺

六月二十五日、誕生会の開
催に先立って、全社員の参集
する本社会議室に於いて、昭
和六十年度の販売コンクール
で見事一位を獲得した海外営
業部輸出一課に栄えある優勝
壺と金一封の授与が行われた。
長引く日本国内の景気の低
迷に加え、昨年来の急激な円
高により、国内営業、海外営
業共に苦戦を強いられ、年々
はあったが、アメリカの底堅
い需要に支えられた輸出一課
が販売目標額を大きくクリア
ーして見事に優勝の栄冠を得
ることができた。

機側からの 距離	エネルギー平均 dB(A)		
	5SP	4DX	33
7 m	74	78	79
15 m	67	71	72
30 m	58	64	64

注、MCD-4DXと4STは機側型式及使用条件同じ

建設工事に使用する低騒
音型建設機械の指定制度と
言うものが、一定要件
に適合するものを低騒音型
建設機械として指定し、こ
れを発注機関、建設業団体
に通知するとともに新聞等
にも公表することになっ
ています。この措置は昭和五
十八年十月一日から施行さ
れています。
一定要件とは騒音または
振動が標準的な建設機械と
比較して相当程度低減され
たものであること、価格が
妥当なものであること、供
給が適切に行われるもので
あること、などと定めてあ
ります。
コンクリートカッターの
騒音判定基準は、定格出力

15 PS以上のエンジンを
付けたコンクリートカ
ッターには騒音の規制
があると聞き及したが
詳しいことを教えてく
ださい。
新潟の西川さんからの
ご質問にお答えします。
建設工事に使用する低騒
音型建設機械の指定制度と
言うものが、一定要件
に適合するものを低騒音型
建設機械として指定し、こ
れを発注機関、建設業団体
に通知するとともに新聞等
にも公表することになっ
ています。この措置は昭和五
十八年十月一日から施行さ
れています。
一定要件とは騒音または
振動が標準的な建設機械と
比較して相当程度低減され
たものであること、価格が
妥当なものであること、供
給が適切に行われるもので
あること、などと定めてあ
ります。
コンクリートカッターの
騒音判定基準は、定格出力

15 PS以上のものについて、
機側7m位置における四方
向のエネルギー平均値が、
作業時(コンクリート版切
断)で騒音レベルが85 dB(A)
以下となっています。
三笠のコンクリートカッ
ターは、MCD-5SP、
4DX(防音カバー付以下
同じ)4ST、33の四型
が低騒音型建設機械の指定
を受けています。これらの
コンクリートカッターの低
騒音型建設機械指定申請に
際しては、建設機械化研究
所に依頼し、騒音レベル測
定方法に基づき、規定強度の
コンクリート版を切断し、こ
の時の騒音を測定。この
時のデータを騒音判定書と
して添付しました。
この時の測定結果の抜粋
を参考に掲げます。

15 PS以上のものについて、
機側7m位置における四方
向のエネルギー平均値が、
作業時(コンクリート版切
断)で騒音レベルが85 dB(A)
以下となっています。
三笠のコンクリートカッ
ターは、MCD-5SP、
4DX(防音カバー付以下
同じ)4ST、33の四型
が低騒音型建設機械の指定
を受けています。これらの
コンクリートカッターの低
騒音型建設機械指定申請に
際しては、建設機械化研究
所に依頼し、騒音レベル測
定方法に基づき、規定強度の
コンクリート版を切断し、こ
の時の騒音を測定。この
時のデータを騒音判定書と
して添付しました。
この時の測定結果の抜粋
を参考に掲げます。